

こんな本いかが? ~読みたい本から~

~幼児から~

E 『ピーレットのやさいづくり』
ウルリカ・ガイドマーク 文
イングリッド・ニイマン 絵
高橋 麻里子 訳 岩波書店



ピーレットはちいさな女の子。犬のピフといっしょに畑をたがやし、たねをまきました。水やりや草とり、畑のさく作りと畑しごとはたいへんです。

E 『ぺんぎんたいそう』
齋藤 横 さく 福音館書店

~低学年から~

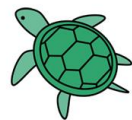
620 『やさいの花』
埴 沙朗 写真 嶋田 泰子 文 ポプラ社

やさいはもともと野の草花でしたが、人が手をくわえて今のやさいになりました。ナスやサトイモなど 29種類のやさいの花を写真で紹介しています。

E 『みみずくのナイトとプードルのデイ』
ロジャー・デュボアザン さく
安藤 紀子 やく 福音館書店

~中学年から~

EK 『ウミガメものがたり』
鈴木 まもる 作・絵 童心社



砂浜で生まれたウミガメの子どもたちは海をめざします。泳ぎだした子ガメたちは、食べられそうになったり、思わぬ事故にあったりしながらも、懸命に生きていきます。

949 『のんびり村は大さわぎ!』
アンナレーナ・ヘッドマン 作 菱木 晃子 訳
杉原 知子 絵 徳間書店

「広島市子どもの読書活動推進計画(第三次計画)」に基づき様々な事業に取り組んでいます。家庭で一日5分絵本の読み聞かせをしましょう。

~高学年から~

913 『オイル夫人の深夜画廊』
斎藤 洋 著 森田 みちよ 画 偕成社

ミュンヘンへ行くために乗った列車が雪で止まり、イエーデシュタットの町で降りたフランス。そこで夜間専門の古本屋「オイル夫人の深夜画廊」の話聞き、行ってみることにしました。

790 『あやとり学』
野口 廣 著 今人舎

~中学生から~

933 『十三番目の子』
シヴォーン・ダウド 作
パム・スマイ 絵 池田 真紀子 訳 小学館



村に伝わる掟により、13歳の誕生日に暗黒の神の生け贄になることが決まっているダーラ。家族と離されて育った彼女だが、12歳最後の日に双子の兄と出会い……。

913 『夜間中学へようこそ』
山本 悦子 作 岩崎書店

ほんだいすきクイズ

こども図書館では毎月、絵本からクイズを出しているよ。今回は展示テーマ「平和をねがって」からのクイズだよ。

Q. コッコさんは、だれとてをつないだかな?

E 『コッコさんのともだち』
片山 健 さく・え (福音館書店)

をよんでみてね! 本は図書館にあるよ。こたえはつぎのブックルだよりでね。

5. 6月号のこたえ:「どようび」

郷土作家コーナーに行ってみよう!

広島にはどんな作家さんがいるかな?

こども図書館では、広島県内で生まれ、広島に住んでいる作家の絵本や童話など、児童書を集めている「郷土作家コーナー」があります。

あがわ ひろゆき
阿川 弘之 『ちいさなかんしゃ』など

1920年広島市に生まれる。主に成人向けの本を執筆するが、創作児童文学、絵本の翻訳なども手がける。

なす まさと
那須 正幹 『ズッコケ三人組』シリーズなど

1942年広島市に生まれる。自動車販売会社勤務、実家の書道塾の手伝いなどを経て、実姉の影響で創作活動をはじめ。

なかざわ しょうこ
中澤 晶子 『あしたは晴れた空の下で』など

1953年名古屋市に生まれる。書籍の編集を経て、コピーライターとして活躍するかわら児童書を書き続ける。広島市在住。



現在、約80名の作家・翻訳家の作品が棚に並んでいますので、ぜひご覧ください。

テーマで本を読んでみよう!

「知ろう! 本当にあったこと」(高学年から)

●日本の「点字」って誰が考えたの?

281 『闇を照らす六つの星』
小倉 明 著 (汐文社)

●40年以上 ミミズの観察と実験をした人がいた!

483 『ダーウィンのミミズの研究』
新妻 昭夫 文 杉田 比呂美 絵
(福音館書店)

●広島の人には日本が一番お好み焼が好き?!

916 『広島お好み焼物語』
那須 正幹 著 大川 陽子 イラスト
(PHP研究所)

利用者の方からの質問にお答えします!

Q. コールデコット賞について調べたいのですが。

A. コールデコット賞(The Caldecott Medal)は、毎年アメリカで出版された絵本のうち、もっとも優れた作品を生み出した画家に与えられる賞です。『賞をとった子どもの本』(玉川大学出版部)、『英語圏の児童文学賞受賞作品とその邦訳』(安藤紀子)などで、賞の解説や1938年創設からの受賞作品を調べることができます。賞の由来となったイギリスの画家ランドルフ・コールデコットについては、『ランドルフ・コールデコットの生涯と作品』(絵本の家)や『コールデコットの絵本解説書』(福音館書店)などがあります。2階しらべの児童文化コーナーに、いろいろな参考図書を用意していますので、ご利用ください。



開館時間: 午前9時~午後5時

7月の休館日: 7/4, 11, 19, 25, 29

8月の休館日: 8/1, 8, 12, 15, 22, 29

ひろしまし としょかん
広島市こども図書館 発行
〒730-0011 広島市中区基町5-83 TEL.082-221-6755
http://www.library.city.hiroshima.jp/kodomo/

ていがかねん **低学年から**

ちゅうがくねん **中学年から**

こうがくねん **高学年から**

ちゅうがくせい **中学生から**

E フリ 『ターちゃんどペリカン』
 ドン・フリーマン 著
 さいおんじ さちこ やく ほるぷ出版

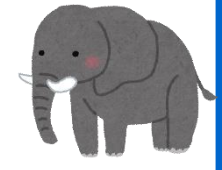
夏休みになると、毎年同じすなはまにきて家族とキャンプをするターちゃん。去年もすなはまにいた年とったペリカンといっしょに、はじめての魚つりにちょうせんします。

E K こば 『うみべであそぼう』
 なかの ひろみ ぶん
 小林 安雅 しゃしん 福音館書店

933 き 『ゾウの鼻が長いわけ』
 ラドヤード・キプリング 著
 ふじまつ れいこ やく いわなみしよてん 藤松 玲子 訳 岩波書店

知りたがり屋のゾウ君は、ある日、ワニが何を食べるのか知りたくなり、ワニを探しに出かけました。ところが……動物たちの楽しい「なぜなぜ話」が、12話入っています。

E K ウエ 『数ってどこまでかぞえられる?』
 ロバート・E・ウェルズ 著
 せな あいこ やく 評論社



夏休みに読んでみよう!

370 た 『弁当づくりで身につく力』
 たけした かずお ちよ こうだんしゃ 竹下 和男 著 講談社

自分で献立を考え、買い物、調理、弁当箱詰め、片付けを行う「弁当の日」。ある小学校で始まったこの取り組みを、当時の校長先生が紹介します。

782 は 『速く走るコツ大研究』
 はや はし だいけんきゆう 比一いちび一けんきゆうじよ P.H.P.研究所



913 も 『DIVE!!』全4巻
 もり えと ちよ こうだんしゃ 森 絵都 著 講談社

踏み切りから入水までの空中演技を競う飛びこ。この競技に魅せられた知季、要一、飛沫の3人は、それぞれの思いを抱えながらオリンピック出場を目指します。

933 ふ 『ジェミーと走る夏』
 エイドリアン・フォゲリン 著
 ちば しげき やく ポプラ社 千葉 茂樹 訳

E K おお 『とりになったきょうりゅうのはなし』
 おおしま えいたろう ぶん 福音館書店 太島 英太郎 著

今から6500万年ほど前、大きなきょうりゅうはほとんど死にたえました。しかし、つばさのある小さなきょうりゅうのしそんは生きのこり、今でもすがたをかえて生きています。

933 ふ 『恐竜が学校にやってきた』
 アン・フォーサイス 著 熊谷 敏司 訳
 むかい ながまさ 絵 金の星社

457 な 『なぜ? どうして? 恐竜図鑑』
 び一いちび一けんきゆうじよ P.H.P.研究所

恐竜はどんな生きものだったのでしょうか? その大きさや姿、暮らし方などたくさんの謎を、残された化石の調査や長年の研究からわかりやすく教えてくれます。

913 た 『そいつの名前はエメラルド』
 たけした ふみこ 著
 すずき きん ほししゃ 鈴木 まもる 画 金の星社



恐竜にであつたら...

933 は 『大きなたまご』
 オリバー・バターワース 著 松岡 享子 訳
 いわなみしよてん 岩波書店

ネイトの家のめんどりが産んだ巨大なたまごから出てきたのは、6千万年以上も前に絶滅したはずの恐竜だった! 恐竜は、草や葉をたくさん食べてどんどん大きくなり――。

913 と 『チビ竜と魔法の実』
 とみやす ようこ ちよ おおば けんや え かいせいしゃ 富安 陽子 著 大庭 賢哉 絵 偕成社

933 と 『ロスト・ワールド』
 ユナン・ドイル 著 賞 紘 訳
 おそえがわ ともや え こうだんしゃ 小副川 智也 絵 講談社

「恐竜は今もなお生存している」という動物学者の主張は本当なのか? 事実を明らかにするために結成された探検隊に加わり、南米に行く新聞記者マローンの冒険小説。

450 は 『ジオパークへ行こう!』
 はやし しんたろう ちよ かわの いくよ え こみねしよてん 林 信太郎 著 川野 郁代 絵 小峰書店

913 や 『おこりじぞう』
 やまぐち ゆうこ 著 四国 五郎 絵
 しん にほんしゅつばんしゃ 新日本出版

広島に小さな石じぞうがあり、いつもわらっているように見えました。でも、昭和20年8月6日に原子爆弾がおとされた後、石じぞうの顔はだんだんかわっていきます。

E マツ 『せかいでいちばんつよい国』
 デビッド・マッキー 著
 なかがわ ちひろ 訳 光村教育図書

913 く 『彼岸花はきつねのかんざし』
 くつき しょう さく 朽木 祥 著
 ささめや ゆき 絵 学習研究社

かの子は、家のうらの竹やぶでこぎつねに出会い、いっしょに遊ぶようになります。ところが8月6日の朝、ピカドンが落とされて……。同じ題名の絵本もあります。

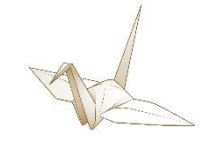
916 お 『はたらく地雷探知犬』
 おおつか あつこ ぶん しゃしん こうだんしゃ 大塚 敦子 文 写真 講談社

平和について考える

310 み 『奇跡はつばさに乗って』
 みなもと かずこ ちよ こうだんしゃ 源 和子 著 講談社

ニューヨークの「9・11追悼施設」に贈られた、佐々木禎子さんの折り鶴。世界平和の願いを伝える鶴は、人々の思いやりの心をつないでいきます。本当にあった話です。

913 ま 『屋根裏部屋の秘密』
 まつたに こ さく つかさ おさむ え 松谷 みよ子 作 司 修 絵
 かいせいしゃ 偕成社



650 い 『広島の木に会いに行く』
 いしだ ゆうこ ちよ かいせいしゃ 石田 優子 著 偕成社

広島には、原爆の傷を伝える「被爆樹木」が170本残っています。ドキュメンタリー映像作家の著者が広島街を歩き、被爆樹木について取材したことを写真やイラストと共にまとめた本。

283 ろ 『きれいな絵なんかなかった』
 アニタ・ローベル 著 小島 希里 訳
 ポプラ社

